

2020年10月21日

令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（ドミニカ国）
ドミニカ赤十字社輸送車両調達計画に関する署名式

2020年10月21日、令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力であるドミニカ赤十字社輸送車両調達計画の署名式が行われました。

本案件は、当館における令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力最初の採択案件であり、同署名式は当館とドミニカ赤十字社によるオンライン形式で実施されました。

同社は、日本政府の供与額 35,267 米ドルの無償資金を利用して 16 人乗りの車両を調達することで、新型コロナウイルスの感染拡大が続く現況下においても、同国民に対して、保健や医療、防災など多岐にわたって様々なサービスを提供することが期待されます。同社への無償資金協力は 2013 年度に続き 2 度目の支援となります。

本式典では、平山達夫ドミニカ国日本国大使及びサンドラ・チャーター＝ロール・ドミニカ赤十字社事務局長が贈与契約に署名しました。また式典には、レジナード・ウINSTON・同総裁、ジェラルド・クールズ・ラティーング在ドミニカ日本名誉総領事、佐藤克哉二等書記官も出席しました。

平山大使は挨拶の中で、両国は長年友好協力関係を有しているが、自然災害の被害を経験しており、災害への強靱性強化は必要であることについて触れ、新型コロナ収束を待つことなく、本案件に署名ができたことは喜ばしく、本車両が本来の目的に沿って効果的かつ末永く活用されることを期待する旨を述べました。

ウINSTON総裁は、同車両の調達により、災害時だけでなく、同社のあらゆる活動のために必要不可欠なボランティアの移動が可能になり、日本政府と大使館に心から感謝する。今回の支援は、ドミニカ市民に対する赤十字社の対応力を向上させる一助になると述べました。

日本政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でドミニカ国に対する支援を実施していく考えです。

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp





平山大使によるスピーチの様子



ウインストン・ドミニカ赤十字社総裁によるスピーチの様子



平山大使が贈与契約書に署名する様子



チャーター＝ロール事務局長が贈与契約書に署名する様子



署名後に挨拶を交わす様子（ドミニカ赤十字社（画面左側）：左から右、クールズ・ラティグ日本名誉総領事、ウインストン総裁、チャーター・ロール事務局長
大使館（画面右側）：左から右、平山大使、佐藤書記官）

お問い合わせ
 在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
 Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
 E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp

